

中国現地法人 大連経済技術開発区出張所の開設準備認可の取得について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：齋藤 宏）の 100%子会社である中国現地法人「みずほコーポレート銀行(中国)有限公司」が、中国銀行業監督管理委員会大連監管局宛に提出していた中華人民共和国大連市経済技術開発区における出張所（中国における支行）開設準備申請が、2007 年 7 月 31 日付で正式に認可されました。これを受け、07 年内の出張所開設を目指して具体的な準備作業を開始致します。

大連経済技術開発区は、中国初の経済技術開発区として 1984 年に国務院が正式批准して以来 20 年以上の歴史を有し、既に外資企業約 2,000 社が集積しているほか、従来の保税區、物流園区に加え、2006 年 8 月には区内の大窯湾港が、上海・天津に並び保税港区として指定される等、引き続き成長が見込まれています。当行グループとしては、日系企業を中心とする区内企業との取引拡大及び今後の企業進出支援を目的として、大連市経済技術開発区に出張所を設置することとしたものです。

大連経済技術開発区出張所は、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司の現行 6 拠点（上海本店、深圳、大連、北京、無錫、天津(07 年 7 月 23 日開業)の各支店）に続く 7 番目の拠点となる予定です。これにより当行グループは中国（除く台湾、香港）において、当行 4 駐在員事務所（広州、厦門^{アモイ}、武漢、南京）も含め充実したネットワークを有することになりますが、今後とも機動的な拠点展開を行うことで、お客さまの事業展開を万全の形でサポートする体制を整えてまいります。

<ご参考>

大連経済技術開発区概要

- 大連市中心から北部約 30km の臨海地域に位置し、企画面積は 332k m²、人口約 40 万人。外資系企業約 2,000 社（内日系企業 600 社）が既に進出済。
- 同開発区は、保税區、大連保税物流区（04 年 12 月上海外高橋に続く第 2 陣として）を持つ他、良港（大窯湾港）を有し中国東北地区の玄関口として引き続き発展が見込まれる。

以 上